

Vol. 50
2008



茨城県男女共同参画広報誌

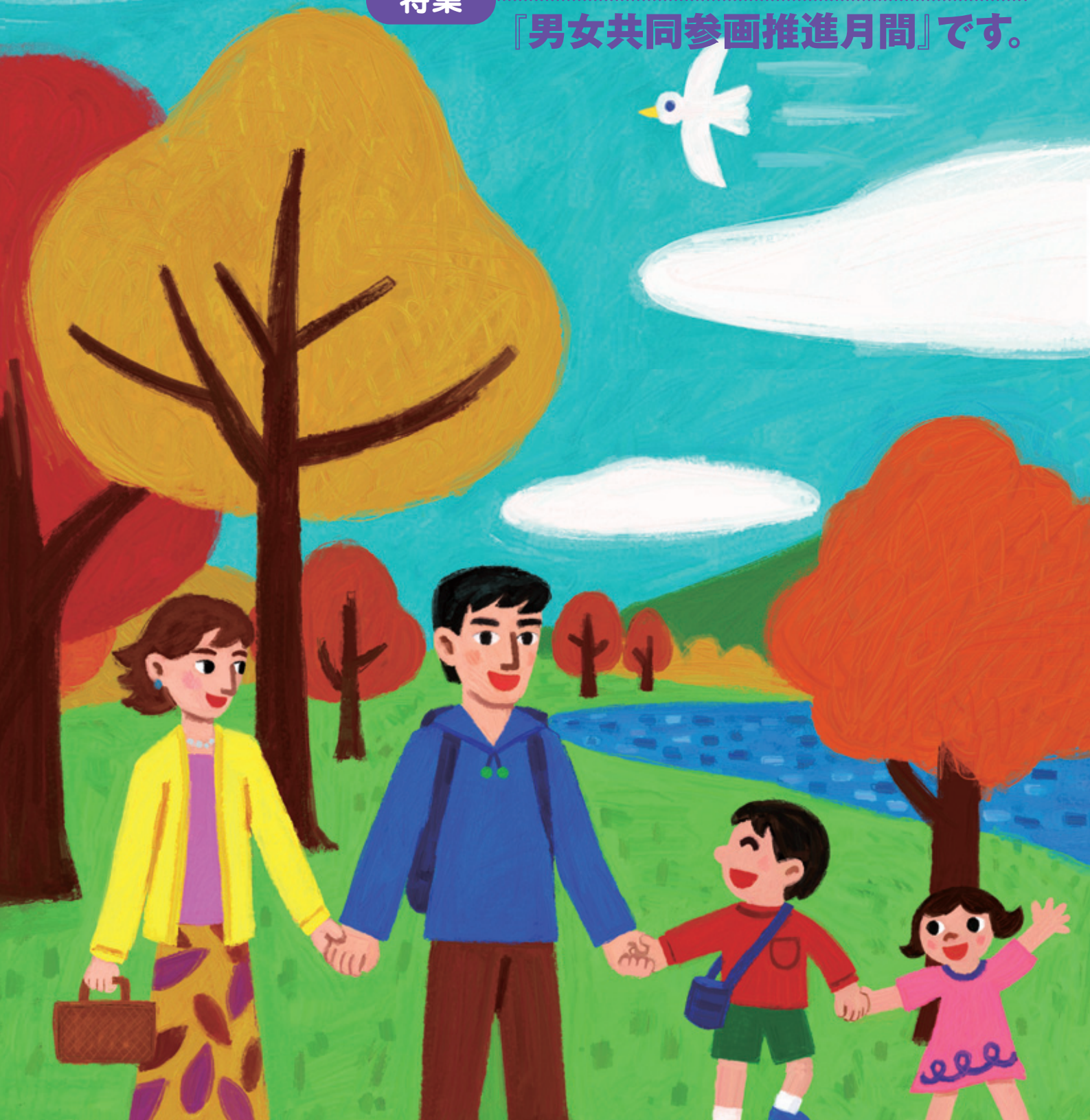
男女共同参画社会を目指して

ハーモニー広場

特集

毎年11月は、

『男女共同参画推進月間』です。



H a r m o n y P l a z a

平成20年度

「男女共同参画推進月間」 標語が決定しました

男女共同参画社会をイメージした標語として、応募総数3,603件の中から入賞作品が選ばれました。

最優秀作品は、今年度の男女共同参画推進月間のポスター等で使用されます。

たくさんのご応募ありがとうございました。

【最優秀賞】

お互いを 認めてひらく 未来の扉

鹿嶋市 君和田拓也様(高校生)

【優秀賞】

● 学生の部

がんばろう 男女いっしょの すてきな未来

古河市 小山翔平様(小学生)

みんな 男・女でつなぐ 未来へのバトン 参画社会

常陸大宮市 県立小瀬高校1年1組様

● 一般の部

お互いの 個性を引き出す 参画社会

那珂市 松川玲子様

認め合う 互いの能力高めあい
繋ぎ合わせて 明るい未来

あから

日立市 鈴木隆司様

豊かな社会 個性あふれる 女と男

潮来市 内山愛子様

ひと ひと 男と女・ハーモニーフォーラム2008「支え合い、分かちあい、そして豊かに」

- 日時 平成20年11月23日(日) 午後1:00~4:00(開場12:00)
- 場所 牛久市中央生涯学習センター(牛久市柏田町1606-1)
- 内容
 - 講演『「家族のハーモニー」感謝の気持ちを言葉にしよう』
講師：荒木由美子氏(タレント)
 - 「みんな生き生きいろいろ談義」
コーディネーター：秦野玲子氏(RE Learning(リラーニング)代表)
事例発表者：飯村恵子氏(女性農業士)
芳師渡正人氏(守谷市役所 社会福祉課職員)
間宮真知子氏(レディースフォーラムとりで 会長)
横田宏氏((株)カスミ 人事総務本部人事部マネージャー)
 - アトラクション 東洋大学附属牛久高等学校吹奏楽部様
 - 展示・販売
- お申込・お問合せ先 茨城県県南地方総合事務所県民生活課
TEL:029-822-7026 / FAX:029-822-7050



▲ 講師：荒木由美子氏

ひと ひと 男と女・ハーモニートップセミナー

- 日時 平成20年11月28日(金) 午後1:00~3:30
- 場所 ホテルレイクビュー水戸(水戸市宮町1-6-1)
- 内容
 - 「男と女・ハーモニー功労賞」表彰
 - 「男女共同参画推進月間」標語入賞作品表彰
 - 講演 小峰隆夫氏(法政大学大学院政策創造研究科教授)
 - 事例発表 (株)ケーズホールディングス様
- お問合せ先 茨城県知事公室女性青少年課
TEL:029-301-2178 / FAX:029-301-2189



▲ 講師：小峰隆夫氏

事業所の 取り組み事例 紹介

ワーク・ライフ・バランスの推進や子育て支援の充実を図るため、様々な制度を整備する企業が増えています。

しかし、例えば「育児休業」の利用状況でみると、女性の利用者が100%でも、男性の利用者が少ないなど、制度を利用しやすい職場の環境づくりや、利用者の意識改革が課題となっているようです。

今回は、過去にハーモニー功労賞を受賞した事業所の中から、企業の社会的責任・経営戦略として、ワーク・ライフ・バランスの推進や子育て支援に積極的に取り組んでいる事例を紹介します。

CASE 01 (株) ケーズホールディングス

ワーク・ライフ・バランスの推進・子育て支援の充実で 少子高齢化に対応！



(株) ケーズホールディングス
人事部
佐久間 敏昭さん

(株) ケーズホールディングスは、水戸市に本社がある家電小売業の企業です。同社の取り組み状況について、人事部佐久間氏にお話を伺いました。

同社は、トップメッセージや管理職への教育・研修などを通じて、ワーク・ライフ・バランス(WLB)の推進や子育て支援、特に男性の育児休業取得を積極的に進めている企業の一つで、男性の育児休業取得者は18年に1名、20年に入ってから8月末までに2名ありました。

20年の取得者のうち1名は、現場の管理職である副店長が約2週間の育児休業を取得した事例で、会社としても、他の職場や従業員への波及効果等に大きな期待を寄せています。

また、子育て支援の一環である「育児短時間勤務制度」は、1日4時間以上の勤務が条件ですが、従業員の声に応え、今年の春から、対象をこれまでの未就学児までから小学校2年生までに拡大しました。

さらに、公休日や1日増やして年間108日としたほか、有給休暇のうち事前に計画を立てて4日間は必ず取得できるようにし、更に昨年から「積立有給休暇制度」を創設し、過去の取得できなかった有給休暇を40日まで加算可能となり、年間最大80日取得できるようにするなどの取り組みを進めています。

同社では、男性の育児休業取得や短時間勤務制度の導入は、従業員の業務効率の向上や、組織・業務体制の効率化の契機とも捉え、更なる充実に取り組んでいくとしています。



◀ 1947年創業。グループ会社を含め300店舗まで展開されています。

CASE 02 日本テキサス・インスツルメンツ(株) 美浦工場

ワーク・ライフ・バランスを進め、皆良い人生を送りましょう！

日本テキサス・インスツルメンツ(株)は、アメリカを本社とする多国籍企業「テキサス・インスツルメンツ(TI)」の在日法人で、半導体の製造工場が美浦村にあります。

美浦工場やTI全体での取り組み状況について、美浦工場人事部の富永氏にお話を伺いました。

TIでは、1989年から「ダイバシティ・プログラム」を推進し、女性の登用・キャリア開発に限らず、人種、国籍、信条等にとらわれない多様な人材を生かすことができる企業体制づくりに、全世界で取り組んでいます。

日本TIでは、TI全体のダイバシティ・プログラムや、国内の諸制度に従った育児休業等のルールづくり・制度づくり・定着に取り組んでおり、男性の育児休業取得者は、2005-2007の間に2名ありました(うち1名は美浦工場の従業員)。

また、美浦工場では、従業員のワーク・ライフ・バランス(WLB)を推進するため、社内イントラネットでの情報提供に加え、著名講師による講演会の開催、毎週水曜日を事務系間接部門のWLBデー(フリー残業デー。製造部門は、交代制勤務のため常に定時退社が可能)の設定などを行っています。

さらに今後同工場では、これまで仕事中心だった従業員が、自分に投資する時間としてのプライベートな時間をいかに充実させるかについて助言する社内イントラネット上でのトレーニングや、今年8月に開催した「オープンハウス」(従業員家族の職場訪問)で好評を得た「WLB輝き人」(プライベートを充実して過ごしている従業員)の紹介などに取り組んでいくとしています。



社員の新たな一面がみられた「WLB輝き人」コーナー▶



企業によるワーク・ライフ・バランスの推進や子育て支援策の充実は、働く人たちの仕事と家庭・余暇の両立だけでなく、企業の社会的責任や、優秀な人材の確保策として、また企業の業績や生産性の向上を目指す経営戦略としても、様々な業種・規模の企業で取り組みが広がっています。

「たまり場」から生まれる
人と人がつながるまちづくりをめざして！

茨城のたまり場ネットは地域のコミュニティから生まれました。その地域に暮らす一人ひとりが主役のまちづくりです。自然体で楽しみながら、何でもありの自由な空間づくりは人生に深みと広がりを与えてくれます。人の数だけある人生にそっと寄り添い支え合い、同じ時代を生きる「縁」を大切にするとまり場づくりは新しいコミュニティ社会の実現かもしません。



主宰
小松崎 光正さん
・登美子さん
からのコメント



◀皆さんのあったかい心に支えられているたまり場です！

団体の 取り組み事例 紹介



茨城のたまり場ネット本舗 「たまり場・たろう」 筑西市

■主宰 小松崎 光正さん・登美子さん

「たまり場・たろう」は介護者や女性のがん患者、リサイクル活動仲間など5つの団体の活動拠点及び地域住民の世代を超えた気軽な出会い・ふれあいの場を運営し、人と人がつながるまちづくりを目指し、地域住民の社会活動参加への仕掛けづくりをしています。平成16年5月、筑西市下館地区中心地にオープンし、5団体の会員総数は120人。

また、本年4月、茨城県内を「たまり場」でつなぐ「茨城のたまり場ネット」を設立。多くの仲間と共に人情あふれるまちづくりを目指しています。

◀商店街活性化イベント
「ここが古里、あんたが大将」より

身近な生活課題を生活者の視点で解決

延方生活学校 潮来市

■運営委員長 藤原 正子さん

生活学校は、「身近な生活課題を生活者の視点で解決しよう」をテーマに活動している全国組織の団体であり、延方生活学校が開校したのは昭和47年4月。現在の会員数67人。

また、潮来市男女共同参画ネットワーク連絡会に設立当初から加入し、女性としての視点を活かし、地域活動のリーダー的な団体として積極的に活動しています。

レジ袋削減運動や「捨てればごみ、活かせば資源」をテーマとした牛乳パックや古布古傘等を使っての小物づくりの体験指導、延方駅前環境整備「花いっぱい運動」、文化財めぐりや方言講座、地元食材を使った料理教室など様々な企画を通じて三世代が一緒に楽しみながら地域について考えることを目的とする三世代交流事業「ふれあいの場・延方」の開催などの活動をしています。三世代交流事業では、三世代の遊びや学びを通して、地域内のふれあ



▲世代間交流事業の指導に参加

生活学校の会員となり、15年が経ちました。地域の方々との交流もこの活動を通して得られたものです。その上、人生の友も見つけることができました。素晴らしい出会いをくれた生活学校の活動に感謝しつつ、さらに多くの団体と協働して元気な地域づくりの輪(和)を広めていきたいと思っています。皆様、引き続きご指導、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



運営委員長
藤原 正子さん
からのコメント



お知らせ チャレンジ相談のご案内

女性プラザ男女共同参画支援室では、再就職や起業、キャリアアップ、地域活動など、様々なことにチャレンジして、新しい可能性を切り開いていこうとしている方を応援するため、「チャレンジ相談」を行っています。

コーディネーター・相談員が、皆様方一人ひとりのニーズに応じたきめ細かなアドバイスや関係機関の紹介等の情報提供を行っています。「何か始めたいが、何から始めればいいのか」「再就職したいが、ブランクがあるので不安」「起業したい、NPOをつくりたい」「どこに相談したらよいかわからない」など、お気軽にご相談ください。

- 相談日時 月曜日～金曜日 9:00～17:00 (祝祭日及び12月29日から翌年1月3日までを除きます)
- 会場 女性プラザ男女共同参画支援室 (面接相談の場合)
- 相談方法 面接(要予約)・電話・FAX・Eメール
 ※ FAX又はEメールによる相談をご希望の場合は、「チャレンジ相談票」に相談内容等をご記入の上、ご送付ください。
 「チャレンジ相談票」は次のサイトから入手できます。
茨城県男女共同参画チャレンジ支援サイト ▶ <http://www.challenge.pref.ibaraki.jp/>
- 相談料 無料

平成20年度男女共同参画チャレンジ支援セミナー(第4回)「女性のための創業支援セミナー」

新たに事業を始めたいが、創業の動向や現状はどうか、創業に必要なものは何か。新規に開業したいが、開業にあたっての計画や手続きなどはどうすればいいのか。そんな疑問に、それぞれの専門家がわかりやすくご説明します。創業をお考えの方や関心のある方は、ぜひご参加ください。

- 日時 平成20年11月29日(土)・12月6日(土) (2日間) 13:00～16:30
- 場所 女性プラザ男女共同参画支援室
- 対象者 創業に関心のある女性、創業して間もない女性(男性の方も可)
- 受講料 無料
- 募集人数 40名(先着順)
- 内容
 - 「茨城県の最近の創業動向 創業の動機と成功のポイント」及び「創業チャレンジ相談会」
 講師: ニューマネジメント研究所代表 伊藤 勝彦氏
 - 「女性ならではの『起業・創業』」 講師: (株)フジ・アート代表取締役 藤原 美江氏
 - 「創業体験談」 講師: 「憧れ 花のアトリエ」 池田 誠子氏
 - 「開業資金計画の立て方と創業に係る融資制度のご案内」
 講師: (株)日本政策金融公庫水戸支店 国民生活事業 融資第一課長 嶋根 吉彦氏

お申し込み・お問合せ先

女性プラザ男女共同参画支援室 〒310-0011 水戸市三の丸1-7-41
 TEL:029-233-3982(サンキューハーモニー) / FAX:029-233-1330 E-mail:josei1@pref.ibaraki.lg.jp



募集 男女共同参画に関する取組を紹介いただける事業所・団体を募集しています!

県では、男女共同参画に関する取組を推進する契機となるよう、男女共同参画に向けて積極的な取組を行っている事業所及び団体を本紙「ハーモニー広場」紙面や県女性青少年課ホームページに掲載し、県民の皆様へ広く紹介してまいります。

掲載にご協力いただける事業所・団体の皆様は下記までご連絡ください。

例えば、次のような取組を行っている事業所・団体の皆様のご連絡をお待ちしています!

- 事業所
 - (1) 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)を可能とするための制度の充実等を図るなど、多様な働き方を認め合う職場環境づくりを進めている事業所。
 - (2) 女性の人材育成や積極的登用に努めている事業所。
 - (3) 採用・昇任や能力向上の機会を均等化するなど、職場における男女平等意識の確立や男女共同参画への促進に努めている事業所。
- 団体
 - (1) 団体活動を通じて、女性の地位向上や女性に関する諸問題の解決のための取組をしている団体。
 - (2) 地域において公益的な活動を行い、男女共同参画社会の実現に寄与している団体。

お問合せ先

茨城県知事公室女性青少年課 男女共同参画担当 〒310-8555 水戸市笠原町978番6
 TEL:029-301-2178 / FAX:029-301-2189 E-mail:josei1@pref.ibaraki.lg.jp



イベントレポート

男女共同参画チャレンジ支援シンポジウム2008年

県では、男女一人ひとりが、やりがいを感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期や中高年期といった様々な段階に応じた多様な生き方が選択できる社会の実現に向けて、「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）」について理解と認識を深めて頂くためのシンポジウムを、平成20年10月5日、古河市のとねミドリ館において開催しました。

当日は、独立行政法人労働政策研究・研修機構統括研究員の奥津眞里さんから、「未来を拓く生き方・働き方を考える～ワーク・ライフ・バランス～」というテーマで基調講演をいただき、その中で「ワーク・ライフ・バランスは、人生を豊かに生き、次世代に夢と希望を与えるために、未来を拓く生き方、働き方を探すこと」であり、そのためには、「希望をもちながら、自分が果たそうとする役割を過剰な負担を背負わずにできるようにすること」や「他者を尊重し、自己も尊重されることが本当に実現されること」が必要であることなどについてお話をいただきました。

基調講演の後、奥津さんがコーディネーターとなり、パネルディスカッションが行われました。パネリストは、総和地区の農家のお母さんたちのグループである総和知恵の和会会長の稲葉稔子さん、京三電機株式会社人事室長の市毛誠さん、古河商工会議所青年部会長の永塚守さん、授乳服の「モーハウス」代表の光畑由佳さんの4名。パネリストの皆さんからは、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けたそれぞれの団体・事業所の取り組みや体験談等の貴重なお話をいただきました。



▲奥津眞里さんの基調講演

パネリストのみなさん



▲古河商工会議所青年部会長の永塚守さん



▲総和知恵の和会会長の稲葉稔子さん



▲授乳服の「モーハウス」代表の光畑由佳さん



▲京三電機株式会社人事室長の市毛誠さん



▲オープニングを飾っていた古河和太鼓保存会の皆さんによる和太鼓演奏



▲女性団体等によるパネル展示及び物販の様子



お知らせ 平成20年11月12日(水)から11月25日(火)は「女性に対する暴力をなくす運動」の実施期間です。

暴力は、誰に対するものであっても許されるものではありませんが、特に配偶者等からの暴力、性犯罪、売買春・人身取引、セクシュアル・ハラスメント、ストーカー行為等女性に対する暴力は、女性の人権を著しく侵害するものです。

配偶者からの暴力の被害経験に関する内閣府の調査によると、配偶者からの身体的・精神的暴力を何度も受けたと答えている人が、男性が2.6%であるのに対し、女性は10.6%にもなります。また、全国の労働局雇用均等室に寄せられた職場におけるセクハラ相談の多くは女性労働者からであり、毎年相談件数が増えているところです。

「女性に対する暴力をなくす運動」は、こうした女性に対する暴力の根絶に向けて、11月12日から25日の間、全国で集中的に意識啓発に取り組もうという運動です。この運動を契機に、「女性に対する暴力は犯罪である」という認識を持ち、女性の人権について改めて考えてみましょう。



▲女性に対する暴力根絶のためのシンボルマーク

■女性に対する暴力の県内の主な相談窓口

配偶者からの暴力についての相談	婦人相談所(配偶者暴力相談支援センター) 029-221-4166(平日9:00~21:00土日祭日9:00~17:00)
	県警察本部「女性と家庭の相談室」 029-301-0110 及び各警察署
	NPO法人ウイメンズネット「らいず」 029-222-5757(水・金10:00~16:00) 0294-36-5260(月13:00~16:00)
性犯罪に係る被害についての相談	県警察本部性犯罪被害相談「勇気の電話」 029-301-0278(平日8:30~17:30)
つきまとい・ストーカー行為の被害についての相談	県警察本部「女性と家庭の相談室」 029-301-0110 及び各警察署
職場におけるセクシュアル・ハラスメントについての相談	厚生労働省茨城労働局雇用均等室 029-224-6288(平日8:30~17:15)
上記の犯罪等による被害の未然防止についての相談	警察総合相談センター 029-301-9110(又は#9110) (平日8:30~17:30)

■市町村のイベント等のお知らせ

11月は男女共同参画推進月間です。

市町村では様々なイベント等を予定しています。また、月間後にも、イベント等を予定している市町村もあります。

お住まいの市町村の男女共同参画担当課に、お問い合わせのうえ是非ご参加下さい。

市町村名	開催日	イベント名/内容/講師など	会場	問い合わせ先
日立市	11月11日(火)～17日(月) 9:00～21:00 (最終日は午前中まで)	男女共同参画に関する小中学生の絵画・作文展 夏休みに募集した絵画・作文の優秀作品の展示と作文集の配布	大久保交流センター 1Fギャラリー	日立市生活環境部女性政策課 0294-22-3111 (内線568)
笠間市	11月16日(日) 13:00～15:30	かさま男女共同参画推進フォーラム 2008 講演「紫式部の思いこそ男女共同参画」 講師:源りウ会/黒木睦子氏	友部公民館	笠間市秘書課男女共同参画推進室 0296-77-1101
ひたちなか市	① 11月22日(土) 13:00～15:00 ② 11月23日(日) 10:00～15:00 ③ 11月24日(月) 10:00～15:00	ハーモニーフェスタ・わくわく体験事業 2008 「地震イツモ講座」 講師:NPO法人プラス・アーツ代表理事 永田宏和氏 男女共同参画講座 ①「親子でロコモコを作ろう」 講師:ネモトッキングスクール 男女共同参画講座 ②「フラガールになろう」 講師:横須賀志雅子氏 外 男女共同参画講座 ③「パパはお掃除名人」～目からウロコのスーパーテクニック～ 講師:整理整頓アドバイザー 神永一徳氏 わくわく体験事業	ワークプラザ勝田	ひたちなか市市民生活部 女性生活課 029-273-0111 (内線3241)
鹿嶋市	11月1日(土) 13:30～15:00	第5回 鹿嶋市男女共同参画推進大会 講演「探足のアーティストに魅せられて」 講師:アボリジニアート プロデューサー 内田真弓氏	鹿嶋市まちづくり 市民センター	鹿嶋市まちづくり推進課 0299-82-2911
神栖市	11月30日(日) 13:00～15:30	平成20年度 男女共同参画かみす市民フォーラム 基調講演「子ども・家庭・仕事の楽しみ方」 講師:漫画家 石坂啓氏	平泉コミュニティ センター	神栖市市民協働課 0299-90-1178
行方市	11月22日(土) 13:00～15:00(予定)	青少年の自立と社会性を育てる講演会 演題「青少年の非行防止と更生について」 講師:薬師寺東閣東別院 潮音寺副住職 大谷徹英氏	行方市文化会館	行方市企画課/行方市生涯学習課 0299-72-0811 0291-35-2111
土浦市	11月16日(日) 10:00～15:15	男女共同参画センターフェスティバル 講演「地球温暖化防止」今、私たちにできること? 講師:県環境アドバイザー 中村恵美子氏 講座「メタボリックシンドローム教室」 講師:東邦大学講師・健康運動指導士 福島史子氏	土浦市男女共同 参画センター	土浦市男女共同参画課 029-827-1107
	11月21日(金) 9:00～17:00	応急手当上級救命講座 心配蘇生法、大量出血時の止血法など 講師:土浦市消防職員		
	11月27日(木) 13:30～15:30	孫育てセミナー お風呂の入れ方、おむつ交換などの実技ほか 講師:土浦市健康増進課保健師		
石岡市	11月29日(土) 15:00～17:00	さわやかハーモニーセミナー公開講演会 講演「自分らしく生きる」 講師:日テレ学院学院長 石川牧子氏	ふれあいの里 石岡ひまわりの館	石岡市企画課 0299-23-1111
取手市	11月16日(日) 13:00～15:30	第12回 女と男ともに輝くとりのつどい 男女共同参画社会の形成を目指して 朗読劇・寸劇・人形劇 朗読劇:男女共同参画ひたちを実現する会(イコールズ) 寸劇:県立取手松陽高校演劇部 人形劇:取手ふたば文化幼稚園卒園児保護者	取手市福祉交流 センター	取手市秘書課 0297-74-2141 (内線1112)
龍ヶ崎市	11月4日(火)～28日(金) 8:30～17:00	男女共同参画推進月間事業 男女共同参画啓発パネル展示	龍ヶ崎市役所 1階ホール	龍ヶ崎市市民協働課 0297-64-1111
つくば市	11月6日(木) 10:00～12:00	男・女セミナー後期講座～ママの再チャレンジのために～ 「自分プレゼンを体験しよう!」 講師:モアハウス&らくふあむ代表 光畑由佳氏	つくば市 桜保健センター	つくば市男女共同参画室 029-836-1111
守谷市	11月8日(土) 13:30～15:30	男女共同参画 市民企画セミナー「みんなでサンバ!」 身近な物を使って楽器を作り、サンバのリズムを楽しむ 講師:エスコラ・チ・サンバ・サウーヂ	守谷市役所中庭	守谷市くらしの支援課 0297-45-1111
稲敷市	11月16日(日) 12:40～15:00	いなしき女と男のハーモニーフォーラム 講演「オヤジの育児体験」 講師:守谷市職員 佐藤俊之氏	あずま生涯学習 センター	稲敷市秘書広聴課 029-892-2000
古河市	11月29日(土) 13:00～15:00	古河市男女共同参画推進セミナー 公開講演会 公開講演会「今を生きる、人として生きる」 講師:茨城大学生涯学習教育センター准教授 長谷川幸介氏	古河市 福祉の森会館	古河市男女共同参画課 0280-92-3111
筑西市	11月13日(木) 9:30～12:00 11月29日(土) 10:00～12:00	男性セミナー 男の料理教室 男性の家庭参画を目指し、料理を覚える。 講師:市民講師 宮本千枝子氏 筑西いきいきライフセミナー「知っていますか? 裁判員制度」 裁判員制度についての理解を深める。 講師:水戸地方検察庁職員	アルテリオ	筑西市男女共同参画課 0296-23-1600
坂東市	11月23日(日) 9:00～15:00	いい夫婦の日イベント(生き生き生活フェア内) ・いい夫婦の日キャンペーン ・ばんどう女性団体協議会活動状況パネル展示	坂東市岩井体育館	坂東市男女共同参画課 0297-35-2121 (内線1252)

CONTENTS

男女共同参画社会を目指して ハーモニー広場 Vol.50

特集●毎年11月は「男女共同参画推進月間」です。…………… 2

事業所の取り組み事例紹介 (株)ケーズホールディングス/日本テキサス・インスツルメンツ(株)美浦工場… 4 情報広場 いばらき掲示板…………… 6

団体の取り組み事例紹介 筑西市「たまり場・たろう」/潮来市「延方生活学校」…………… 5 市町村のイベント等のお知らせ… 8